

衛生

特別ごみの収集にご協力を

問 保健衛生課環境衛生係（内線163）

通常は廃棄できない特別なごみの収集を行います。エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などが対象です(有料)。

詳しくは、11月中旬発送の回覧をご覧ください。

▶特別ごみ収集の日程

日程	場所
11月29日①	国道445号 七滝トンネル(七滝)
12月6日②	鳥獣保護センター 駐車場(高木)

▶時間 午前8時～正午

※どちらか都合の良い収集場所へ搬送してください。

消防

若いエネルギーを消防団へ

問 総務課地域・防災係（内線214）

平成22年度の御船町消防団員を募集します。消防団員は、深い郷土愛護の精神で、火災や地震、風水害など多くの災害から、町民の尊い生命・身体・財産を守るために、日夜献身的に活動を続けています。

▼入団の条件

年齢18歳以上で、心身ともに健康であって、各消防団の地区に居住する方です。また、消防活動が可能な方は、町外からも入団が可能です。

- ▼団員の保障
 - ①報酬支給(退職報償金あり)
 - ②公務災害補償
 - ③消防互助年金の加入資格 など

▼消防団への勧誘

消防団員の職業には、自営業や農業、会社員などさまざまな職種の方が在籍され、消防団活動を通じた新たな仲間や交流の場でもあります。消防団から入団の勧誘がありましたら、ぜひ快諾をお願いします。

給食

将来の学校給食を考える 委員会が町民へ中間発表

問 総務課秘書係（内線203）

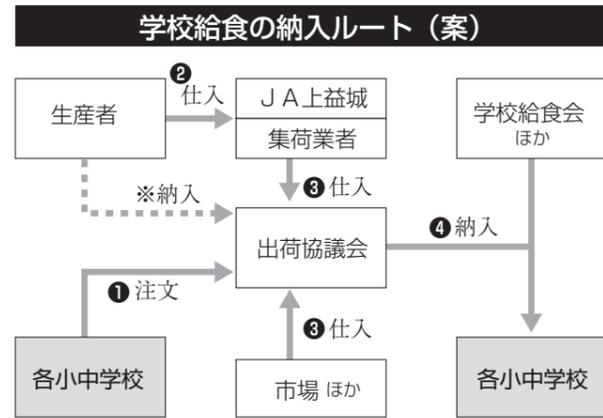
学校給食フォーラムが10月31日、役場で開催され、町民や町職員など約80人が参加しました。

ようと企画しました。

御船町学校給食問題検討実行委員会(下野正委員長)が、学校給食の在り方を食育や地産地消、財政面からの総合的な検討結果を町民へ発表して、幅広い町民の意見を取り上げ

同委員会は、①地産地消・流通班②学校給食・食育班③財政班の3班集体。これまでに、野菜生産者や納業者、学校などの関係者と意見交換や給食施設の見学などで検討した結果を報告しました。

地産地消・流通班では、町内の小中学校で給食に使用された野菜や果物など主要品目と数量に対する町全体の出荷量や納入ルートを確認。地元野菜の使用頻度が低く地産地消の拡大には、「出荷協議会の設立」「流通体制の見直し」が必要と説明しました。(上表)



学校給食・食育班では、町内の小中学校の給食棟や甲佐町給食センターへの施設見学と試食、意見交換などを報告。「御船小と御船中給食棟の老朽化の改善」「子どものアレルギー対策」「家庭と学校給食の連携」が必要と説明しました。財政班では、学校給食施設の財政面を①自校方式継続②共同方式導入

税金

滞納処分の実績を中間公表

問 税務課徴収係（内線137）

今年4月から県の税務課職員と合同で、町民税およびそのほかの町税の徴収強化に取り組んでいます。税金は町にとって大切な財源であり、納税は国民の義務です。収納率が下がれば、収入が減り行政サービスが低下も考えられます。税の未納者に対して、地方税法では「督促状を発送した日から10日を経過した日までに完納しないとき、滞

納者の財産を差押えなければならぬ」と規定されています。納期限内に納付している方との公平性を図るためにも、町税の滞納者に対しては継続して、家宅捜索などの滞納処分を実施していきます。また、毎週火曜日は窓口延長の午後7時30分まで、納税に関する相談を受け付けていますのでご利用ください。

公会会開催のお知らせ

- 【第2回県・市町村合同公会会】
 - ▼日時 12月11日(金)
 - ▼会場 開場・午前9時30分 益城町総合体育館
 - ▼出品数 約100点
 - 【第1回熊本県南合同公会会】
 - ▼日時 1月22日(金)
 - ▼会場 開場・正午 不知火公民館
 - ▼出品数 約50点
- (県内5団体参加)

町からの税金投入シミュレーション	費用(H22~40年度)	自校方式との比較
自校方式	22億0800万(A)	—
共同方式1(御船小+御船中)	23億1300万(B)	1億0500万(B-A)
共同方式2(御船小+御船中+木倉小)	21億9200万(C)	△1600万(C-A)
共同方式3(御船小+御船中+木倉小+滝尾小)	19億6700万(D)	△2億4100万(D-A)
給食センター方式	15億1600万(E)	△6億9200万(E-A)

- ◎自校方式 各小中学校(7校)の給食施設を学校敷地内で建替える方法。
- ◎共同方式1 親子式(御船小+御船中)として、御船中へ給食を配送。そのほかの各小学校(5校)は自校方式とする方法。
- ◎共同方式2 親子式(御船小+御船中+木倉小)として、御船中と木倉小へ給食を配送。そのほかの各小学校(4校)は自校方式とする方法。
- ◎共同方式3 親子式(御船小+御船中+木倉小+滝尾小)として、御船中と木倉小、滝尾小へ給食を配送。そのほかの各小学校(3校)は自校方式とする方法。
- ◎給食センター方式 御船小の改築に併せて給食センターを建設。各小中学校(7校)へ給食を配送する方法。
- ◎費用 施設規模に応じた人件費(栄養士、調理員)、物件費(委託料、使用料など)、扶助費(保護就学援助費など)、起債(国からの借金)など9項目を一定の条件で計算したもの。詳しい内容は、御船町HPで公開中。

(3パターン)③給食センター方式での建設の3方式で検討。自校方式での給食室建替え費用、給食センター方式の建設費、それぞれの維持費や人件費など一定の条件と年数での試算結果を報告。最も財政面への負担とならないのは給食センター方式とし、逆に負担増は一部共同方式という結果が示されました。(右表)

現在、同委員会では、給食フォーラムでの参加者意見の集約と、事前アンケート調査(約1千人対象)の集計分析をした内容を報告書(素案)へと反映させる作業を進め、11月下旬に山本町長へ提出。この報告書(素案)が給食施設の在り方を決定するための最終的な判断材料とされて、12月定例議会で報告がされます。